



美意識と自然観を感じる里
SATOYAMA TOWN YAMATO

古今伝授の里 郡上大和

SATOYAMA TOWN YAMATO



古今伝授の里 郡上大和

美意識と自然観を感じる里
SATOYAMA TOWN YAMATO

古今伝授の里 郡上大和

美意識と自然観を感じる里

SATOYAMA TOWN YAMATO

PR動画を再生



美意識と自然観を感じる里山

郡上市大和町は、長良川上流に位置し、豊かな自然に恵まれた町です。町の約90%は山林に覆われ、川のせせらぎが響く中、四季折々の里山風景が広がります。「古今伝授の里」として知られ、和歌の文化が根付いたこの地には、中世の歌人・東常縁の文化的遺産が息づいています。遺跡・旧跡や伝統的な家並み、田畑の風景など、自然と人の営みが調和して生まれる美しい景色が訪れる人々を魅了します。

古今伝授の里
フィールドミュージアム



TABITABI郡上
大和エリアの紹介



Kokindenju no sato YAMATO

こきんでんじゅのさと やまとちやう
古今伝授の里 大和町

日本の四季の美意識は、平安時代に編まれた『古今和歌集』（『古今集』とも）に端を発します。花の香りや鳥の声、木々の美しさなど、四季の情景が和歌や物語に表現され、現代まで受け継がれてきました。その『古今和歌集』の解釈を伝えることを「古今伝授」といいます。

かつて大和町を中心に一帯を治めた東氏の当主らは、武士でありながら優れた和歌を詠みました。中でも9代目東常縁は、「古今伝授の祖」として文学史に名を刻みます。

「古今伝授の里」の名は、この地が、和歌を愛した東氏ゆかりの地であることに由来します。

大和町の豊かな自然が紡ぎ出す美しい景色は、古来、日本が受け継いできた四季の美意識を再確認させてくれます。

また、地域の人々の、幾星霜にわたる営みが生んだ、歴史的建造物や文化遺産は、日本の自然観を体現しています。

それだけではなく、「古今伝授の里」大和町では、自然とともにあるこの地の人々の生き方、フィールドミュージアムと名付けられた博物館エリアでのワークショップやイベントなどを通じて、伝統的な美意識と自然観を未来へと繋げています。

宗
祇



古今伝授

『古今和歌集』の解釈等を師から弟子へ秘伝すること。様々な流派の中でも後世に大きな影響を与えたのが、東常縁から宗祇への古今伝授で、東常縁が「古今伝授の祖」といわれるゆえんです。

東
常
縁



美意識と自然観を感じる里山

CONTENT A to Z of YAMATO

Ayu 鮎の塩焼き / Bojo 「母情」 / Cherry blossoms 桜の里 / Doburoku とぶろくの里

Entertainment 「遊遊び」をテーマに生まれた天然温泉 / Field museum 光と空間、植栽が彩る野外博物館

Gibier 郡上産ジビエ / Hotel フェアフィールド・バイ・マリオット・岐阜郡上 / Irodori 郡上旬彩館

Japanese architecture 日本の里山建築 / Kurisu river 栗粟川流域

Local food 家庭料理 / Michinoeki 道の駅やまと / Nanukabi maturi 七日祭

Outdoor フォトドン / Pond 池 / Quietness 静寂 / River side town PIO

Shrine 明建神社 / Tofu 燻り豆腐 / Understand 理解する / View finder 写真スポット

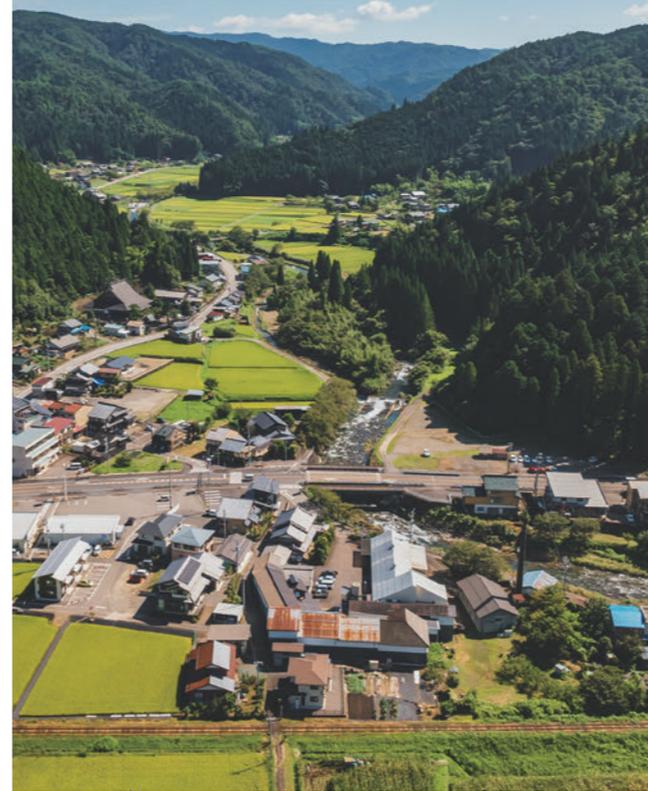
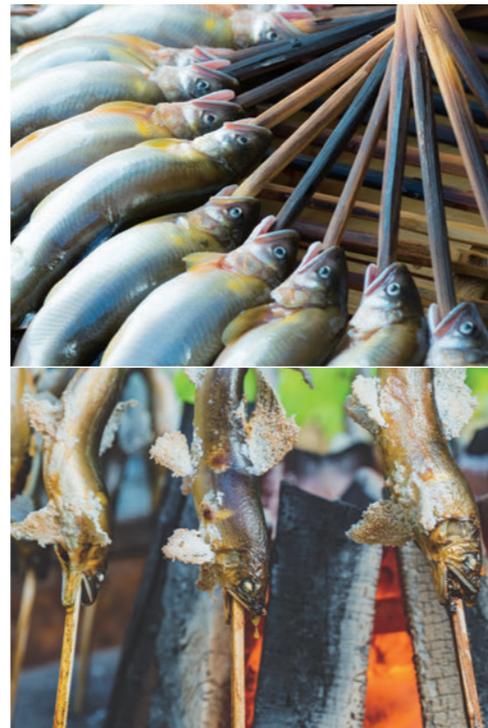
Waka 和歌で選った篠脇城 / X point 郡上の交錯点 / Yakata ato & Yamajiro 館跡と山城跡

A Ayu 焼きにこだわる、大和の「鮎の塩焼き」

長良川源流域の清らかな水で育った鮎は、特有の香りと繊細な味わいが魅力の逸品です。囲炉裏でじっくりと焼かれた鮎の塩焼きが味わえる「道の駅 古今伝授の里やまと」をはじめ、町内には長良川の天然鮎を使った料理が楽しめるお店が多く点在しています。



夏の長良川では、釣り師たちが川に入り竿を下ろし、伝統的な「友釣り」を楽しむ姿が風物詩となっています。川底の苔を食べて上流へ遡上する鮎は、源流地域の清らかさを象徴する存在。大きな背ビレと黄色く輝く体の特徴です。この鮎を炭火でじっくり焼き上げた「塩焼き」は絶品です。鮎飯や甘露煮、活け造りなども、鮎ならではの香りを楽しめます。



B Bojo 母情 | 平野醸造株式会社

平野酒造株式会社は、1873年に創業した酒蔵で、名水「古今伝授の里の水」を使用した代表銘柄「母情」を製造しています。開かれた酒蔵として、さまざまなイベントも定期的に関催し、訪れる人々に酒造りの魅力を伝えています。

平野醸造株式会社 母情

「母情（ぼじょう）」は、郡上を代表する日本酒で、ふるさとへの深い想いが込められています。平野醸造株式会社は、「開かれた酒蔵」として、訪れる人々に酒造りの過程を紹介し、お酒の魅力を実感できる機会を提供しています。仕込みに使用するのは、名水「古今伝授の里の水」。この清らかな湧水が、香り豊かでまろやかな味わいの日本酒を生み出しています。伝統的な味を守りつつ、現代技術を融合させることで、地域の人々に愛され続ける酒が誕生しています。その一つに新たな大和の地酒ブランドがあります。米作りから酒造りまでの過程で、地域の唄や和歌とともに醸し出された日本酒「一から百酒」や、祝い唄と伝統的な木桶仕込みを用いた「郡上風土酒」が人気を集めています。





Cherry blossoms 桜の里

冬の厳しい寒さを乗り越え、町中を華やかに彩る満開の桜。明建神社の桜並木や長良川沿いの桜は、樹々が芽吹き花咲き誇る爛漫の春を象徴しています。多くの人々が花見を楽しみ、にぎやかな風景が広がります。



ほのかに霞む青空を映し込んだ長良川と、残雪を頂く白山連峰と、川辺の桜が一体となった風景は、まさに春だけの絶景。満開を過ぎた後の花吹雪や花筏も見逃せません。大和町には多くの桜の名所があります。中でも、明建神社の桜並木は、江戸時代から桜の名所として知られており、約230mの間に大小100本あまりの桜が植えられ、県天然記念物に指定されています。江戸彼岸と染井吉野が作る桜のトンネルは、飛騨美濃さくら33選にも選定されています。この桜を愛する地元有志が桜守となり、満開に合わせてライトアップもしています。日中の薄紅色のトンネル、夜間の幻想的なライトアップ、どちらも息を飲む美しさです。

D Doburoku

どぶろくの里

郡上で人気を集める「どぶろく」。特に大和町には、複数の製造所があり、様々な種類のどぶろくが楽しめます。すっきりと飲みやすいものや、濃厚で芳醇な香りを堪能できるものなど、清流に恵まれた大和町の環境で育まれたお米と手間ひまかけた製造過程から、多彩な個性が生まれています。ほんのりと広がるお米の甘みと、優れた口当たりが飲む人々を魅了します。



E Entertainment

「湯遊び」をテーマに生まれた天然温泉

やまと温泉「やすらぎ館」は、「湯遊び」をテーマにした日帰り温泉。『古今和歌集』の和歌にちなみ、「ことといの湯」という別名を持ちます。寝殿造りを現代風にアレンジした新和風建築の館内には、子ども用すべり台や陶器浴槽、対流式歩行浴、サウナなど、多世代が楽しめる工夫がされています。併設された道の駅とともに、行楽やスキーシーズンを中心に大勢の人で賑わいます。

F Field museum

光と空間、植栽が彩る野外博物館

「古今伝授の里フィールドミュージアム」は、和歌をテーマにした屋外博物館で、大和町の自然や歴史文化が集約された施設です。日本の四季の美意識や自然観を、呼吸するように体感できます。広大な敷地内には、和歌に関連する施設が数多く点在し、レストランでの食事やカフェ、博物館での鑑賞など、充実した時間を過ごすことができます。





ゆきげ
雪解の山野草、桜とたおやかな若葉、新緑の春。眩しい陽射しが深緑を照らして生まれる、きらめく木漏れ日の夏。カツラからケヤキへ、そしてモミジへと一カ月半かけて黄、橙、赤に染まる紅葉の秋。雪が降り、鳥も囀るのをやめ、せせらぎのみが響く、静寂の冬。

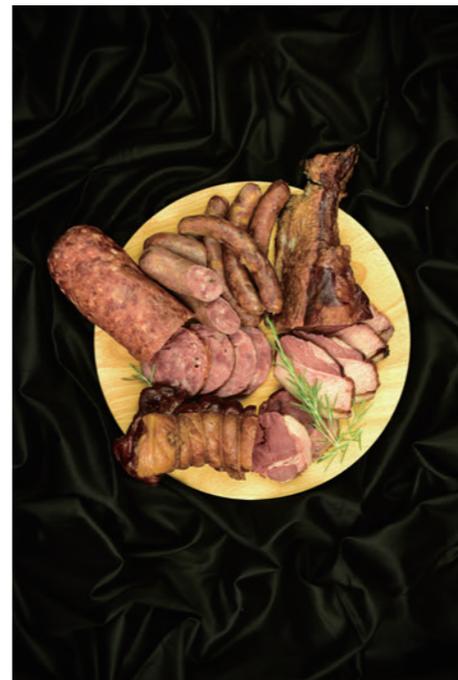
歴史の重厚さと、繊細で力強い自然が、重なり合って生み出される雰囲気は、喧騒とは程遠く、異世界へ足を踏み入れたかのような感覚になります。



古今伝授の里フィールドミュージアム
岐阜県郡上市大和町牧 912-1
開館時間：9:00～17:00（12月～3月は10:00～16:00）
定休日：火曜日（祝日の場合は翌平日）
TEL:0575-88-3244

G Gibier 豊かな山が育む絶品ジビエ

日本三大ジビエの地、郡上。秋から冬の猟期には多くの猟師が山へ入り、木の実やキノコを食べた鹿や猪などのジビエを獲ります。ジビエ肉は栄養価が高く、丁寧な処理により臭みがなく、野生の旨味が詰まっています。味噌鍋やグリルで楽しむジビエ料理は、冬の郡上の特別なご馳走です。



郡上でジビエ料理を楽しめる背景には、恵まれた自然環境と猟師たちの活躍があります。近年、解体施設の衛生環境が整備され、安心しておいしいジビエを味わえるようになりました。また、ジビエ商品の開発も進んでおり、ソーセージやペット用ジャーキーなどの加工品が登場しています。さらに、猟師体験や解体ワークショップ、トークショーなどを通じて、郡上の狩猟文化やジビエの魅力を広げる取り組みが行われています。

郡上産ジビエが購入できるお店

郡上旬彩館 やまとの朝市
岐阜県郡上市大和町刺 148
開館時間：4月～12月：8:30～16:00
1月～3月：9:00～16:00
定休日：火曜日（祝日の場合は営業、翌平日
振替休業）・年末年始
TEL:0575-88-4373



H Hotel

フェアフィールド・バイ・マリオット・岐阜郡上

「フェアフィールド・バイ・マリオット・岐阜郡上」は、道の駅に隣接する宿泊施設で、大和町をはじめ周辺観光の拠点として便利です。隣接するやまと温泉で旅の疲れを癒したり、道の駅や朝市で買い物を楽しんだり、地元食材に舌鼓を打ったりと、アレンジ次第であなただけのとっておきの旅を創り出すことができます。

WEB site



郡上の新鮮な地元食材が揃う「郡上旬彩館 やまとの朝市」は、終日多くの人々で賑わいます。地元農家が持ち寄る色とりどりの野菜や果物、お米、手作り特産品などが並びます。観光客はもちろん、地元の人も日常的に利用し、地域の交流拠点として活気にあふれています。

営業時間：4月～12月：8:30～16:00 / 1月～3月：9:00～16:00
定休日：火曜日（祝日の場合は営業、翌平日振替休業）・年末年始
TEL:0575-88-4373

Instagram



Irodori

郡上旬彩館 やまとの朝市

J Japanese architecture

日本の里山建築

「篠脇山荘」の濡れ縁からは、池に映る篠脇山や、水面に反射して軒天に映る水陽炎など、光と水が織り成す風景を楽しむことができます。木材を基調とした広い和室は、季節ごとに表情を変えるのももちろんのこと、一日のうちでも、朝、昼、夕と陽射しの差し込み方で違った雰囲気を感じ取れます。静寂に身を置くと、心が安らくなります。

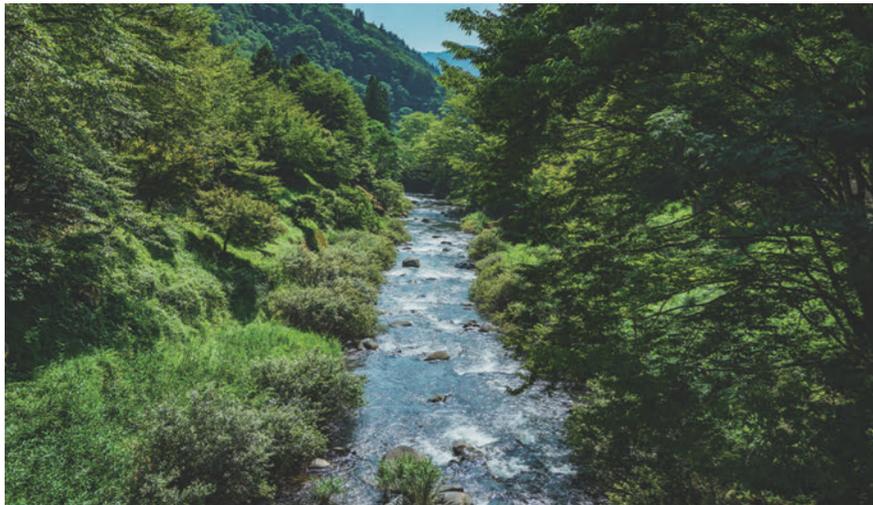


篠脇山荘 古今伝授の里フィールドミュージアム内

一部に茅葺を残した、鉄骨造り銅板葺きの建物は、内も外も自然と調和したデザインになっています。特に雅遊の間と名付けられた、ガラス越しの緑も美しい和室の大広間は、歌会や茶会、書や絵画の展示会、ヨガ、ワークショップなど多目的に利用されています。

K Kurisu river 栗巢川流域

古今伝授の里フィールドミュージアムや明建神社の近くを流れる栗巢川は、長良川へと注ぐ清らかな支流のひとつです。約10kmの流域には、遡上した鮎、「あまご」や「いわな」といった溪流魚が生息しています。栗巢川がもたらす恵みと穏やかな風景は、東氏の時代から続く集落の歴史を今に伝えています。



山々からの清冽で豊かな湧水は、田畑を潤し、日本酒やどぶろくの仕込みにも使われます。これらの湧水は、栗巢川へと流れ込みます。集落の中を流れる栗巢川は、人々に欠かせない存在です。釣り人が竿を立てる姿、夏には子どもたちが川遊びを楽しむ姿が見られます。明建神社の七日祭の奉仕者が身を清めるのもこの川です。栗巢川の中・下流域は川沿いに緩やかな道が続きサイクリングに最適です。勾配のある上流域も源流ならではのダイナミックな川の姿を楽しめます。



L Local food 地元の家庭料理が味わえる「よぶこどり」

古今伝授の里フィールドミュージアム内にある「よぶこどり」は、地元の新鮮な野菜や川魚を使った季節ごとになるランチやカフェを楽しむお店です。店名の「よぶこどり」は古今伝授の秘伝「三鳥」の一つで「友を呼び集める」という意味があるとか。文学の本と木の温もりに包まれる落ち着いた雰囲気店内の客席と、篠脇山を望み四季折々の自然を肌で感じられるテラス席があります。日替わりランチは、地域の人にとってどこか懐かしい味で人気です。



ミュージアムカフェ よぶこどり
岐阜県郡上市大和町牧912-1
営業時間：9:00～15:00 (14:00 LO)
定休日：火曜日 (祝日の場合は翌平日)
TEL:0575-88-4583



M Michinoeki 道の駅 古今伝授の里やまと

大和町の観光拠点で、古今伝授の里らしく、季節ごとの花木が出迎えてくれます。駅内の店名には、「おがたま」「めどに削り花」など、『古今和歌集』の和歌から採られたものもあります。どんな意味かなと探りながら各店舗を巡っててください。



道の駅「古今伝授の里やまと・くつろぎ広場」では、源泉掛け流しの足湯、緑あふれる中庭のハンモック、やまと温泉などが、旅人に憩いのひとときを提供してくれます。もちろん、朝市の新鮮な野菜、郡上の特産品、鮎の塩焼きや郷土料理、手作りパン工房なども揃っています。買って、食べて、くつろいで、家族揃って満喫した一日を過ごせます。



道の駅 古今伝授の里やまと
岐阜県郡上市大和町剣164
営業時間：9:00～18:00（店舗により時間は異なります）
定休日：火曜日（祝日の場合は翌平日）
TEL:0575-88-2525



レストラン おがたま

吹き抜けの広々とした空間と四季折々の庭園が楽しめるレストラン。郡上産の新鮮な食材を活かした郷土料理や、こだわりの月替わりメニューが人気です。



ゆたか
湯多花の市

湯多花の市は、地酒や長年親しまれてきた特産品が揃う物産館です。郡上名物「鶏ちゃん」やお菓子、雑貨など、豊富なお土産を取り揃えています。



こびりどころ
小屋処 かにさくら

鮎の塩焼きや鶏ちゃんなど、郷土料理が手軽に楽しめる食事処。遠火の炭火で丁寧に焼き上げる鮎の塩焼きは全国にファンが多く、骨まで丸ごと堪能できます。



やまと温泉 やすらぎ館 ことこの湯

露天風呂や多彩な湯船が揃い、アウトドアや鮎釣り帰りの癒しに最適な温泉です。食事スペースや広々とした休憩エリアも完備され、家族連れにも人気です。



郡上旬彩館 やまの朝市

地元の新鮮な野菜やジビエ肉、手作り惣菜が並ぶ朝市。季節ごとの品揃えや郡上ならではの特産品が楽しみ、地元住民や観光客で賑わう人気スポットです。



EVERGREEN MARKET

旬彩館の裏手に位置し、花苗や野菜苗、鉢物、観葉植物などの園芸資材が豊富に揃うお店です。訪れるたびに新しい発見を楽しむことができます。

N Nanukabi maturi 七日祭 なぬかびまつり

七日祭は、明建神社で毎年8月7日に行われる伝統的な祭礼で、800年以上の歴史を誇ります。渡御や舞の奉納などが行われ、岐阜県重要無形民俗文化財に指定されています。



明建神社の例大祭「七日祭」（岐阜県重要無形民俗文化財）は、鎌倉時代から室町時代にかけて郡上を治めた東氏がはじめたとされ、それによれば800年以上の歴史を誇ります。毎年、星祭りの8月7日（旧暦では7月7日）に執り行われます。奉仕者のほとんどは宮座制で受け継がれ、1週間の精進潔斎を経て祭りに臨みます。

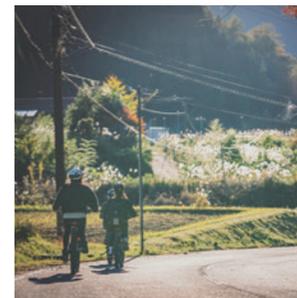
神輿の渡御では、篠葉踊子という子どもが持つ竹を、猛った獅子が噛む場面があり迫力満点。続いて行われる「野祭り」は、中世に盛んだった芸能「田楽」の特徴を色濃く残しています。そのうちの一つ、「杵振りの舞い」で、役者が杵を高く投げ上げ、見事に受け止めると、観客から大歓声がかかります。無病息災のご利益があるとされるとどぶろくも振る舞われます。普段は森閑とした神社も、この日ばかりは老若男女で賑わいます。

O Outdoor 里山で遊ぶ

国道沿いに流れる長良川と、そこに注がれる美しい支流が織り成す風景。この町は、川の流れて沿って山奥へと続く道があり、E-bikeでのサイクリングや川遊びなど、アウトドアに最適な場所です。



都市部の喧騒を離れ、心と体をリフレッシュできるこの町は、まさにアウトドアの宝庫。豊かな自然に囲まれたハイキング、川遊び、キャンプは、都市では味わえない静けさと美しい景色を楽しむことができます。特に春の新緑や秋の紅葉は格別で、E-bikeやサイクリングで里を巡ると、自然の美しさと癒しのひとときに出会えます。



峠を超える様々なコースがあり、サイクリストに人気のエリアです。



史跡や神社も多く点在し、パワースポットや神社巡りも行われます。



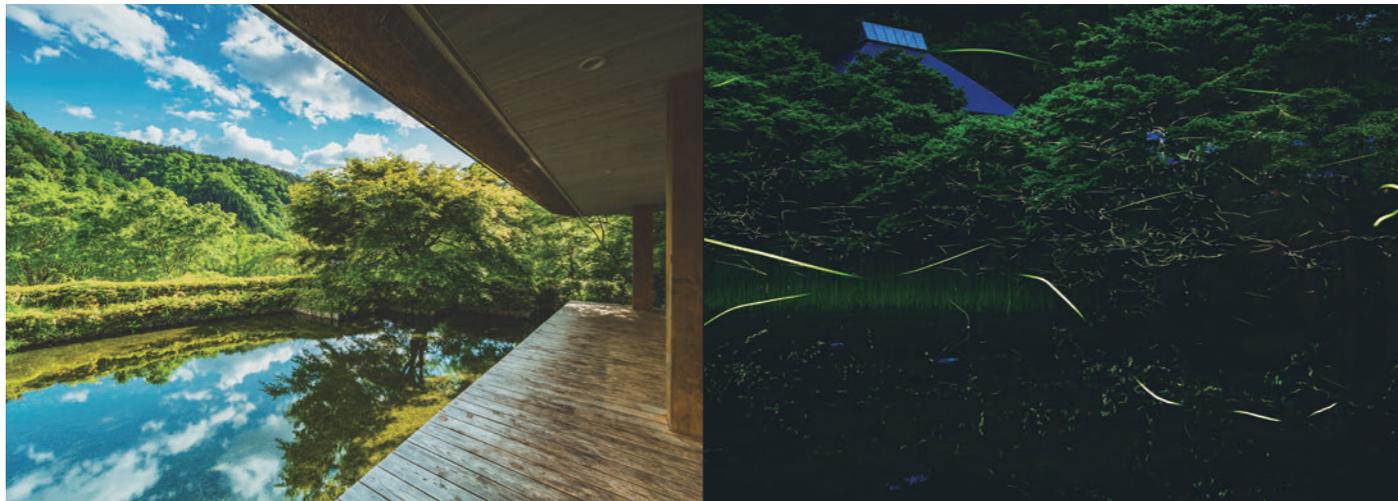
キャンプ場やバンガローも多く、自然豊かな環境での宿泊が人気です。



長良川支流の川は美しく、流れも穏やかで、子どもたちの遊び場です。

P Pond 映し出す池

この地域は、山水が豊富に湧き出る場所ならではの美しい景観が広がっています。庭の池をはじめとした水場が多く、周囲の風景が鏡のように映し出され、まるで絵画のような光景が楽しめます。静かな水面が自然の美しさを引き立て、心を癒やしてくれることでしょう。



古今伝授の里 フィールドミュージアム内 篠脇山荘の池

篠脇山荘の濡れ縁に立つと、目の前の池が篠脇山を鏡のように映し、軒天に映る水陽炎が穏やかな癒しを与えてくれます。池の水面は空の色を映し込み、特に朝や夕暮れ時には、まるで絵画のように美しい風景が広がります。流れる雲、頬をなでる風、囁、水音、静けさの中に自然の音を感じながら、心安らぐひとときを過ごすことができます。

レストランももちどりの池

初夏の夜だけ出会えるのは、乱舞する蛍が水鏡の池に映る光景。暗闇の中で柔らかな光を放ちながら飛ぶ蛍と、穏やかな夜風は、幻想的な雰囲気を生み出します。昼間の澄んだ水面も魅力的ですが、夜の蛍が映る池は、とりわけ印象深く、夢のような美しさを感じることができます。

Q Quietness 静寂に包まれる冬

葉を落とした木々が、冬の里山に開けた景色を描き、雪に残る獣の足跡や水場に訪れる鳥たちが、冬だけの里山風景を美しく引き立てます。ふかふかの雪が音を吸収し、凜と澄んだ空気が静寂となって様々な景色を見せてくれます。

厳しい寒さの中、フィールドミュージアム内のレストランももちどりの凍った池は、午前8時過ぎ、篠脇山から遅い朝日が差し込むと一気にきらめきます。また、国名勝・東氏館跡庭園の池では、晴れた日には、空の青さが水面に映り込み、まるで別世界のような輝きを放ちます。かつて東家が和歌に詠んだ風景を感じることができる冬の特別な空間が広がります。



レストランももちどりの池

国名勝 東氏館跡庭園

R

River side town PIO ピオ リバーサイドタウンPIO

地域密着型のショッピングセンター「PIO」は、地域の人々にとって欠かせない暮らしの拠点です。多様な業態の店が並び、賑わいのある活気あふれる施設です。



大和リバーサイドタウン ピオ Pio
岐阜県郡上市大和町徳永268
TEL:0575-88-0055
営業時間：9:30～19:00
定休日：2月・6月に1日（第3水曜日はスーパーのみ営業）



寿司 海鮮

富山直送！新鮮なネタが揃ってます！

「寿司海鮮」は、内陸で新鮮な魚介類を楽しめる店で、お手頃価格のランチも提供。明るく活気のある雰囲気、地元の人々に愛されています。

営業時間：11:00～20:00 TEL：0575-88-0022



丸忠精肉店

BBQの食材やお土産に大人気のお店

最上級 A5 ランクの飛騨牛や岐阜県産ポーノポークを取り扱う精肉店で、オリジナルの鶏ちゃんや味付け肉、手作りの惣菜も人気のお店です。

営業時間：10:00～19:00 TEL：0575-88-2901



Yamato Cafe

本格カフェラテ | ドーナツ | サンドイッチ

「ヤマトカフェ」は、本格ラテや紅茶が楽しめる落ち着いた空間のカフェ。季節ごとに変わるドリンクメニューやサンドウィッチが好評です。

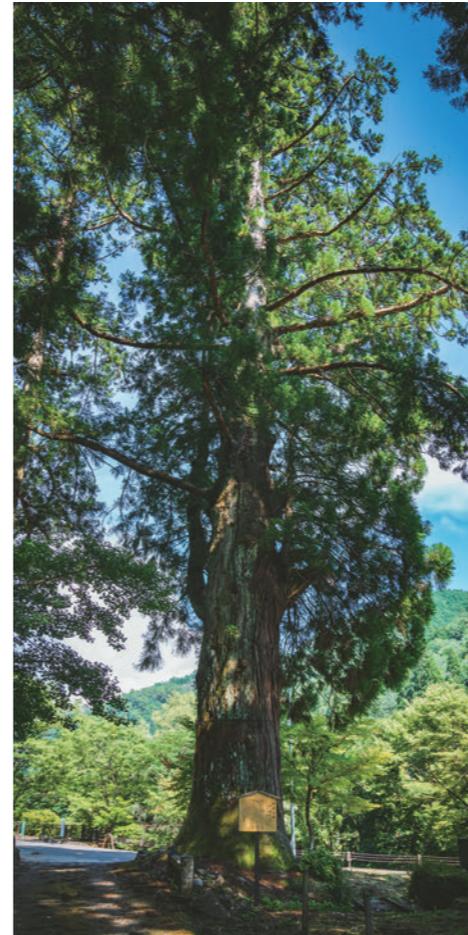
営業時間：09:30～17:00 TEL：0575-74-1122



S

Shrine みょうでん 明建神社

七日祭、桜並木が美しい参道など、地域の人々が集い大切に守り続けてきた明建神社。
静かな境内と自然に包まれ、地域の歴史と信仰を感じることができる、美しく穏やかな場所です。



明建神社は、鎌倉時代の初めに東胤行によって創建されました。東氏は千葉氏の一族なので、千葉氏が一族結集の象徴として信仰した軍神・妙見菩薩を祀っています。戦国時代初めに東氏が滅んだあとも、地域の人によって守られてきました。
樹齢700年以上という巨木・神帰り杉と神迎え杉、県天然記念物に指定されている社叢、横参道の桜並木、苔むした石階段など、境内の荘厳な空気は、心身を浄化してくれるかのようです。



T Tofu

母袋工房 燻り豆腐

母袋工場の「燻り豆腐」は、大豆と塩田にがりを使用して作られた母袋豆腐を桜チップで燻製し、スモークチーズのような香ばしい風味に仕上げた特産品。お土産にも喜ばれる逸品です。



U Understand

和歌文学館 古今伝授の里 フィールドミュージアム内

和歌文学館は、東氏ゆかりの和歌を学ぶ施設で、万葉集から現代までの約1300年の和歌文学史を紹介。三十六歌仙の屏風や近代歌人の作品も展示されており、理解をより深めることが出来ます。



V View finder

写真家が訪れるフォトロケーション

日々変化する美しい自然風景が広がるこのエリアには、特に写真家に愛されるフォトスポットが多く点在しています。春の桜並木や秋の紅葉シーズンには、色鮮やかな山々と清流が自然の美しさを引き立てます。また、古今伝授の里としての歴史的背景を持つ神社仏閣や静寂の中にひそやかに聞こえる川のせせらぎが得も言われぬ雰囲気を作り出します。どこを切り取っても絵になる場所で、心に残る一枚を求めて多くのフォトグラファーが訪れます。



W Waka 和歌で選った篠脇城

鎌倉時代から室町時代にかけて郡上を治めた東氏の居城のひとつが篠脇城。代々の当主らは、武士でありながら、優れた和歌を詠む歌人でした。神々の心を動かし、勇猛な武士の心をも慰めるとされた和歌。その言葉の力で、敵将の心を感動させ、戦わずして奪われた篠脇城を取り戻した逸話が伝えられています。

大和町は、武士でありながら優れた和歌を詠んだ領主一族・東氏の拠点が置かれたことから、和歌のまち、古今伝授の里として知られています。鎌倉時代初めの承久の乱の戦功で当地の領主となった東氏は、1首でも和歌が選ばれば大変な名誉とされた勅撰和歌集（天皇や上皇の命で編まれた和歌集、代表的なものが『古今和歌集』）に、一族で72首もの和歌が収められています。当時から、東家は、武士でありながら優れた和歌を詠む家として知られていました。9代目の東常縁は、『古今和歌集』の解釈等を秘伝する「古今伝授」の祖としても知られていますが、「和歌の功德」と評されるエピソードも伝わっています。

室町時代の応仁の乱の余波で、篠脇城が奪われます。幕府の命令で関東に出陣していた東常縁は、「思ひやる心の通う道ならでたよりも知らぬ故郷の空」という和歌を詠みます。この和歌に心を動かされた敵将の斎藤妙椿は、篠脇城を選したというものです。

「力をも入れずして天地を動かし、目に見えぬ鬼神をもあはれと思はせ、男女の仲をも和らげ、猛き武士の心をも慰むるは、歌なり」という『古今和歌集』の仮名序を実現した逸話です。

かつて篠脇城が置かれた山裾には、斎藤妙椿が攻めた東氏の館跡があり、それを含めた一帯は「古今伝授の里フィールドミュージアム」として整備されています。和歌にも詠まれた四季の美意識を感じられるこの場所を訪れ、言葉には心を動かす力があることに思いを馳せてみてください。



X X Point 郡上の交錯点 郡上八幡と奥美濃白鳥を繋ぐ地域

郡上市は、八幡町、大和町、白鳥町、高鷲町、美並町、明宝、和良町の7つのまちから成る広大な地域です。大和町は郡上の北部と南部のほぼ真ん中にあり、古くから人やモノの移動の結節点として栄えてきました。北部と南部の魅力をつなぐ大和町を拠点に、郡上の豊かな魅力に触れてみてください。



郡上市の中心に位置する大和町は、地理的に郡上北部と南部を結び、歴史的にも古代と近世の文化を繋ぐ重要なエリアです。

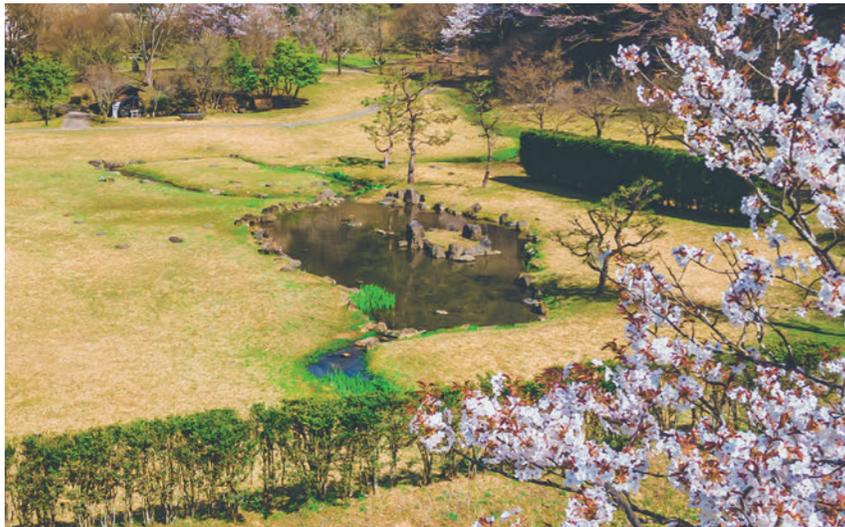
長良川の両岸には道路や長良川鉄道が整備されており、アクセスが良好で、郡上の魅力を効率よく楽しむことができます。

「古今伝授の里」や「和歌の里」として名高い大和町では、和歌や文学の歴史が色濃く息づいており、東氏の歴史的背景を感じながら、古今伝授の里フィールドミュージアムで和歌の世界を体験できます。

さらに、大和町は温泉、買い物、キャンプ場、サイクリングコースも充実しており、道の駅には郡上の特産品や美味しい食べ物が集結し、訪れる人々にとって魅力的なスポットとなっています。

Yakata ato & Yamajiro 国史跡・東氏館跡及び篠脇城跡

鎌倉時代から室町時代にかけての領主一族・東氏が、230年余りにわたって拠点をおいた篠脇山とその山裾は、国名勝と国史跡に指定されています。特に山裾の館跡周辺には、和歌に詠まれたものを中心に70種類以上の花木が植栽され、四季折々、歌心を誘う美しい景色が広がります。



篠脇山麓の東氏の居館跡にある、池泉回遊式の庭園は、550年程前に作庭されたと推定されており、池の石組みは当時の姿をとどめています。また、篠脇山頂の城跡からも、庭の遺構が出現しています。山麓の館跡と山頂の城跡のどちらからも、青白磁、茶道具、碁石、かわらけ（盃）が出土しています。和歌を愛した東氏は、優美な庭をつくり、茶の湯や囲碁、宴を楽しんだことでしょう。

梅、桜、芽吹きやかな若葉、椿、ぼたん、虫、深緑、蜻蛉、黄葉、紅葉、冬ざれ、銀世界…広々とした芝生、多種の花木とそこに集う鳥の囀り、栗巢川のせせらぎ、陽射し、風…いつ訪れてもとっておきのひとときが待っています。

古今伝授の里 郡上大和

美意識と自然観を感じる里

発行：郡上市

発行日：2025年1月

問合せ：郡上市役所大和振興事務所 TEL:0575-88-2211

撮影協力：古今伝授の里フィールドミュージアム

デザイン：NATURE DESIGN GoodJobLab

写真：NATURE DESIGN GoodJobLab

※古今伝授の里フィールドミュージアム、東氏館跡庭園を含む園内で写真撮影や動画撮影をされる場合は事前に許可が必要です。

©古今伝授の里フィールドミュージアム管理事務所（TEL 0575-88-3244）